

みなさん、こんにちは。県立生涯学習推進センターメルマガ担当です。

先日の「いわてマナビィマガジン No.248」で久慈市が紹介されました。それを見て、子連れ単身赴任をしていた久慈での出来事を思い出しました。みなさんは、久慈市にある「べっぴんの湯」をご存じですか？東北一の高アルカリ性(Ph10.7)の泉質で、その湯につかれば、お肌がすべすべになるという、まさにその名の通りの温泉です。源泉湧出量が激減し2019年10月から営業を休止していましたが、今年の4月11日に、営業再開を果たしました。

10年以上前のことになりますが、べっぴんの湯で入浴剤が発売されたという噂を耳にし、早速、購入しました。当時住んでいた貸家の浴槽に、べっぴんの湯の入浴剤を入れ、お風呂に入るのが親子2人の楽しみでした。

そんなある日のこと。いつものように、我が家のべっぴん(入浴剤)の湯に娘と2人で入っていると、娘が「(お風呂の)ドアを開けたら、露天風呂みたいになるんじゃない？」と言いました。それは、いいかも♡♡♡と思った私。早速、お風呂のドアを開け放つことにしました。その瞬間、ひんやりとした空気がお風呂に流れ込み、とても気持ちがよかったです。さらに、二人で相談して、灯りも消してみることにしました。これが、とてもいいアイデアで、まさに露天風呂！！(お家の環境が許すようであれば、お試しください)。

それからというもの、お風呂の時間になると娘が「今日は普通のお風呂にする？露天風呂にする？」と聞くようになりました。今、考えてみると、国語の教科書に出てくる「一つの花」のゆみこのようだと思うのは私だけでしょうね(^_^;)

両親や祖母が温泉好きということもあり、小さい頃から温泉に親しんできた娘。最近では、温泉に行く機会が減りましたが、時々思い出したように、「温泉行きたいな…」と言います。そんなお風呂好きの娘の最近のお風呂事情は、入っている時間がとにかく長い、長い…。のぼせているのではと心配になるくらい。お風呂で勉強したり、読書したりしているということですが、待っているうちに私が寝てしまう…という問題がしばしば発生しています(-_-;)

「オフロナガスギー(※最近見つけた「いえのなかのぼやき妖怪ずかん」という絵本に真似て命名してみました)」も認めながら、楽しくこのぼやき妖怪と仲良くなる作戦を考えようと思う今日この頃です(^_^;)。

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】 <https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】 <https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★